

日新自動車株式会社

大正10年(1921)	長瀬徳太郎(後の長瀬産業社長)が、日本での自動車普及を目指し、大阪市北区に資本金50万円で日新自動車(株)を設立。米国スチュードベーカー、英国オースチン車等の輸入を開始。
昭和2年(1927)	我国初の自動車ノックダウン工場を大阪に建設、円タク用自動車ホイペットの組立生産を開始。
昭和17年(1942)	外国自動車・部品の輸入禁止に伴い、国産自動車部品の卸販売を始める。
昭和23年(1948)	終戦に伴い海外からの自動車輸入を再開。
昭和28年(1953)	日産・オースチン社の技術提携によりニッサンオースチンが誕生、これを機に日産車ディーラーとしての営業を開始。
昭和29年(1954)	国内部品卸部門拡大のため福島営業所(現在の大阪営業所)並びに福岡営業所を開設。
昭和40年(1965)	海外車の輸入代理店契約を逐次解消。
昭和43年(1968)	東京に日産自動車・東急自動車と3社合併で、東新日産自動車を設立(後に新東京日産に合併される)し、自動車販売網を整備。
昭和46年(1971)	札幌営業所、鹿児島営業所を開設。
昭和51年(1976)	沖縄営業所を開設。
昭和54年(1979)	岡山営業所を開設。
昭和58年(1983)	日新日産モーター(株)を設立し、日産車ディーラー部門を分離。
昭和60年(1985)	日新日産モーター(株)の株式を日産自動車に譲渡、部品商社として再スタート。
昭和61年(1986)	熊本営業所を開設。
平成元年(1989)	福島日新ビル竣工。
平成17年(2005)	海外事業部を発足。
平成24年(2012)	商品部・特殊商材事業部を発足。